

# 彩のかがやき

# 高温対策を実施しましょう！

8月以降は高温の予報が発表されています。

出穂後20日間の平均気温が27℃を超えると、白未熟粒（乳白粒、背白粒、基部未熟粒）の発生が増加します。高温障害軽減ため、以下の対策を必ず実施しましょう。

水不足が心配されますので、農業用水は有効に使いましょう。

## 1 適正な穂肥の実施

穂肥施用時の葉色を葉色板で「4」以上に保つことが最も重要です。

1回目の穂肥を施用した場合でも、出穂10日前に葉色を確認し、葉色が「4」以下の場合には2回目の穂肥を施用しましょう。（N成分で2kg/10a、基肥一発施肥の場合は1kg/10aを上限）

「彩のかがやき」の穂肥施用時期の目安

作型	移植時期	葉色確認・穂肥施用時期		出穂予想時期
		1回目	2回目	
早植え	5月20日	7月21日頃	8月 2日頃	8月12日～8月14日
	5月25日	7月23日頃	8月 4日頃	8月14日～8月16日
普通	6月 1日	7月24日頃	8月 6日頃	8月16日～8月18日
	6月 5日	7月25日頃	8月 8日頃	8月18日～8月20日
	6月10日	7月26日頃	8月10日頃	8月20日～8月21日
	6月15日	7月28日頃	8月12日頃	8月22日～8月23日
	6月20日	7月30日頃	8月14日頃	8月24日～8月25日

※出穂期は気象条件によって2日程度前後することがあります。

## 2 水管理

出穂後7日以降は間断灌水とし、湛水と断水を3～4日ごとに切り替え、根を健全に保ちます。土壌にひびが入るような強い断水は根にダメージを与えるので避けてください。

早期落水は品質低下を招くので、出穂後30日間は土壌水分を保ちましょう。

収穫の10～14日前は、落水後も気温が高い場合や乾燥した風が吹く場合には、一時的に入水をしてください。

## 3 適期収穫

気温の高い年は、栽培基準の積算気温より登熟が早く進行するので、帯緑色歩合を目安に2～3日早刈りするように心掛けましょう。